

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	クオリティ・オブ・ライフ 古河支援教室		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 10日		～ 2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38名	(回答者数) 32名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 10日		～ 2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動、学習、工作など様々な活動を通して子供一人ひとりの得意な事や苦手な事を把握し、それぞれの特性に応じた支援を行うことのできることをのばしている	活動の中で見られる得意なことや課題について職員間で共有し、個々の特性や発達段階に合わせた関りや活動内容を工夫しながら支援を行っています	職員間の情報共有や支援方法の検討をおこないながら、子ども一人ひとりの成長や発達に応じた活動内容の充実を図りより良い支援の提供に努めていきます
2	季節のイベントを活動の中に取り入れ、子どもたちが楽しみながら季節の変化や行事に触れる機会を大切にしている	季節の行事やイベントを活動の中に取り入れ、子どもたちが楽しみながら季節の変わり目や行事に触れられるよう工夫しています。	今後も季節に応じた活動を取り入れながら子どもたちが様々な経験を通して楽しみながら学べる機会を増やしていきます
3	公園やプール、芋ほり体験など郊外活動を多く取り入れ、子どもたちが様々な場所での体験や経験をできる機会を大切にしています。	子どもたちが季節を感じたり、公共の場でのルールを学んだりできる活動内容を工夫しています	今後も郊外活動を取り入れながら子どもたちが様々な経験が出来る機会作って行きます

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士が交流する機会が少ない事が課題	保護者の交流が持てる行事などが少ないのが要因の一つと考えます	保護者参加型の行事を設けたり、情報共有の機会を検討し、保護者同士が交流できる場を検討していく
2	地域との関りや連携の機会が少ないことが課題	地域との交流や連携につながる機会が少ないことや、地域資源をいかした活動の機会が不十分であることが要因のひとつと考えます	地域行事や施設との関わりを検討し、地域との交流や連携の機会を増やしていけるよう取り組んでいきます
3			